

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		下肢筋力の低下防止の為、楽しみながらの歩行の機会を増やしていきたい。	楽しみながら歩行の機会を行える様に配慮し、下肢筋力の低下防止に繋げる。	1日の中で、散歩の機会の提供や買い物や外出することで、楽しみながらの歩行の機会を提供していく。	12ヶ月
2		個別での外出の機会が少ない。フロアーにて、外出、外食等の支援は行えているが、個別にての外出の機会が少ない。	本人の行きたい場所、馴染のある場所等、個別での外出サービスを今後増やしていく事により、生活に楽しみを更に増やしていく。また、興味のある外出の機会を提供していきたい。	本人がひとりひとり興味のある外出を考え、また馴染のある場所や、展覧会、お墓詣りなど本人の生活の中で、行きたい場所など個別での外出の機会を取り入れていく。	12カ月
3		居室内の環境整備を考え、馴染のある今まで使い慣れた筆筒や、家具等をいれ、過ごしやすい環境、本人が好むような居室環境を更に検討していく。	居室内の環境整備を考え、馴染のある今まで使い慣れた筆筒や、家具等をいれ、過ごしやすい環境、本人が好むような居室環境を考えていく。	安全面の考慮はもちろん、本人が居室を利用するにあたり、本人と一緒に考え、居室にて本人がしたいことができる様な環境に努め、また馴染のある物や、家具などを入所時に持ってきていただきそれらを活用できる環境に努めていく。	12カ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。